



金ヶ崎町【岩手県】 歴史文化基本構想

■ 策定年月：平成23年5月 ■ 人口：15,687人 ■ 面積：180km²
■ 担当課：金ヶ崎町中央生涯教育センター（平成30年3月現在）



奥羽山脈の秀峰駒ヶ岳の麓に拓けた金ヶ崎町は、北上川が東端を流れる、水と緑の豊かなところであり、旧石器時代から近代までの文化遺産が、地域ごとに特徴をもち、今に伝えられている。これら文化遺産について保存並びに活用するため、地域ごとの歴史や文化の特徴をテーマ（柱）とした基本構想を策定し、保存はもとより地域づくり（活性化）や観光に結びつけるよう推進する。

5 歴史文化を表す つのキーワード

古代の鳥海柵等、中世の大名城等、近世の奥州街道や藩境、
近代の軍馬施設、駒ヶ岳と山岳信仰

課題

- ・ 保存活用計画が策定されていない文化遺産がある
- ・ 具体的な庁内の連携が取れていない

保存活用方針

- ・ 地域毎の歴史文化の特徴を柱とし、各地域の計画との照合を図る。
- ・ 本構想に基づき計画を策定した上で地域とともに事業を推進する。

保存活用のための取り組み

主要事業①保存をする

鳥海柵跡の国史跡指定と保存管理計画の策定
重要伝統的建造物群保存地区城内諏訪小路の整備
ほか



主要事業②情報発信をする

小中学校のふるさと教育（副読本の活用）
ホームページによる情報発信
関連商品の開発 ほか



主要事業③歴史を活かした観光を推進する

重要伝統的建造物群保存地区城内諏訪小路及び史跡 南部領伊達領境塚、奥州街道との連携 ほか



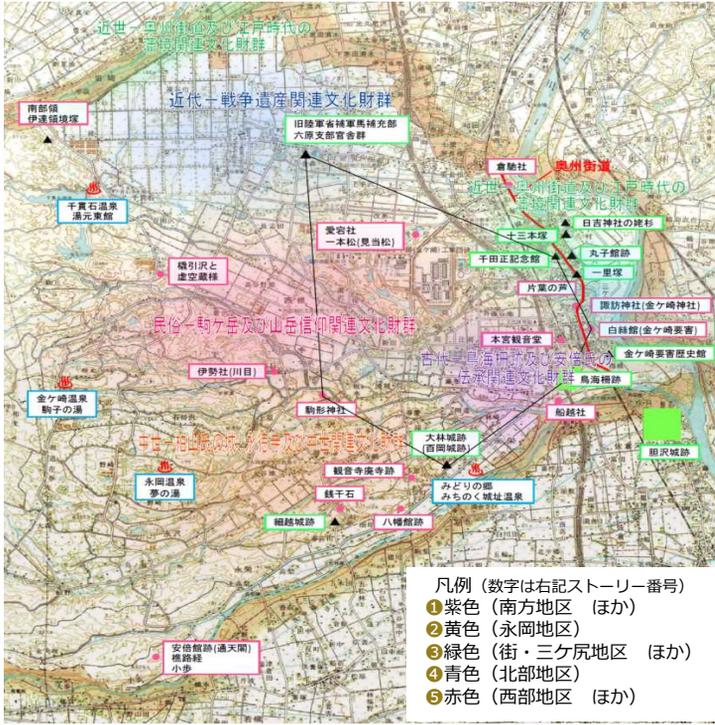
主要事業④文化財関連事業を実施する

地域づくり計画書の関連事業の推進（講座開催、看板設置など）
前九年合戦・安倍氏研究事業の実施（学習会、シンポジウム、企画展等）ほか



関連文化財群

金ケ崎歴史文化基本構想分布図
(国指定史跡鳥海柵跡整備基本計画書掲載予定)



金ケ崎町には、時代区分・民俗・地域（6生活圏／街・三ヶ尻・南方・永岡・西部・北部地区）ごとに特徴をもつ文化財群があり、今に伝えられている。事業実施にあたっては、本構想に基づき文化財群ごとに計画を策定した上で、行政と地域で連携し事業を推進する。

ストーリー

- ① 古代の鳥海柵及び安倍氏の伝承関連文化財群
- ② 中世の柏山氏の城及び永徳寺の関連文化財群
- ③ 近世の奥州街道・藩境・武家町の関連文化財群
- ④ 近代の戦争遺産（軍馬施設）関連文化財群
- ⑤ 民俗一駒ケ岳及び山岳信仰の関連文化財群

策定後の成果（見込まれる効果）

① 鳥海柵跡の国指定及び保存活用

鳥海柵跡は平成25年に国史跡に指定、平成27年に保存管理計画を策定し、整備基本計画を策定中。平成29年に国指定史跡鳥海柵跡と安倍氏の関連文化財保存協議会を設立し、地域住民とともに保存活用を図る。平成23年度から前九年合戦・安倍氏研究事業として学習会、シンポジウム、企画展を開催。



② 軍馬施設の国登録及び保存活用

明治の軍馬施設である旧陸軍省軍馬補充部六原支店官舎は3棟現存し、平成28年に第一棟を岩手県が修理、町が解体調査を行い、平成29年に国登録有形文化財に登録された。平成29年より関連機関と連携し、保存活用計画を策定中。また、関連資料は一部整理のうえ第一棟に展示。



③ 近世の関連文化財群の連携

平成26年に武家町（重伝建地区）内に、近世の奥州街道・藩境・武家町の資料を一堂に紹介する金ケ崎要害歴史館が整備された。武家町から藩境付近までの奥州街道沿いに所在の千田正記念館が平成30年に国登録有形文化財となり、同街道のお休み処として活用予定である。

